

## 第 2 回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

リニア中央新幹線工事に関し、大鹿村民や村を訪れる方々の不安と影響を極力低減するため、工事中における生活及び自然環境への影響対策の確実な実施により、安全安心な地域の維持、将来にわたる環境の保全と活力ある地域の発展を図るよう、リニア事業関係者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」を設置し、工事による影響調査の情報や住民意見などを共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行ってまいります。第 2 回大鹿村リニア連絡協議会が平成 29 年 3 月 22 日、交流センターに於いて、関係者 43 名が出席し開催されました。

### ■第 2 回 リニア連絡協議会 (午後 7 時 00 分～8 時 25 分 開催)

#### ○リニア工事及び関連工事について

工事スケジュール、工事の状況等について JR 東海および県担当者より説明がありました。

#### ① 伊那山地トンネル (青木川工区) 工事公募について

- ・伊那山地トンネル (青木川工区) : 本線トンネル (約 3.6 km) 及び非常口 (斜坑) を含む。
- ・2 月 24 日に公募 (業者選定の手続き) を開始しました。

#### ② 主要地方道松川インター大鹿線改良工事について

【(仮称) 西下トンネル: L=878m】現在の進捗: 165m

【(仮称) 四徳渡トンネル: L=1,201m】現在の進捗: 60mのほか作業用横坑: 30m

\*道路トンネルの発生土は、半の沢のモトクロス場へ仮置きしています。

#### ■工事用車両通行台数の実績 (往復)

	A 区間 (渡場～半の沢)	B 区間 (半の沢～西下トンネル)	C 区間 (西下トンネル～滝沢トンネル)	D 区間 (滝沢トンネル～大鹿方面)
西下工区	14.6 台/日 (2017.3)	195 台/日 (2017.3)	12.1 台/日 (2017.2)	
四徳工区	7.3 台/日 (2016.11)	102.2 台/日 (2017.2)		14.8 台/日 (2017.3)
南アトンネル	6.6 台/日 (2017.3)			

※工事用車両台数は、いずれも「月別日平均 (月延総台数を 1 月当りの工事稼働日数で割り戻した数値) の最大値」です。

※ (2017.3) の表記のものは、3 月 16 日までの集計データにより計算しています。

【現道拡幅 区間 5 (西下トンネル下) L=220m】工期: H29.2.8～H30.3.5 請負業者: 木下建設(株)

\*その他、区間 1～4 は詳細設計中 (JR 東海)

#### ③ 赤石岳公園線改良工事について

道路改良 11 箇所中 3 箇所が完了。現在、区間 4 (赤石荘手前) を施工中。

#### ④ 南アルプストンネル工事について

(小渋川非常口) 保安林解除を待つ非常口トンネルの掘削を開始します。

(除山非常口) 4～5 月に非常口トンネルの掘削を開始します。

(釜沢非常口) 小河内沢を渡河する仮栈橋の設置に 2 渇水期を要すこととなり、非常口トンネルの掘削開始は当初予定の本年 6～7 月が平成 30 年度初旬～となる見込みです。

\*H29.1/16 に釜沢集落内で行なった騒音・振動の測定結果は役場及び JR 大鹿分室で閲覧できます。

#### ⑤ その他

・国道 152 号 (市場通り) 沿線事業所等のヒヤリング状況と交通安全対策 (交通誘導員の配置、カーブミラーの設置) の報告。

- ・国道 152 号保育所付近において大気質、騒音、振動調査を 5 月実施（予定）で調査位置を検討中。
- ・土曜日の休工予定（4/15 さくら祭り、6/10 バスハイキング、10/28(予定)クラフトまつり）
- ・事務局より報告事項
  1. J V 宿舎への大鹿産農作物の納入実績（1～3 月実績：精米、キャベツ、じゃがいも）
  2. 地元の雇用（J V 事務所・宿舎の清掃員：3 月より 1 名雇用、4 月より 1 名雇用の予定）
  3. 小渋線の所要時間等調査について報告（調査結果は今後ホームページ等でお知らせします。）

## ○意見交換

**■釜沢非常口の施工にあたりボーリング調査の予定はあるか？トンネルを掘ってから水枯れしましたでは困る。**

**J R の回答** 坑口部分の 40～50m 間で調査の可能性はありますが未定。釜沢非常口は釜沢地区の水源とは別の沢筋であるため影響はないと認識していますが、要望については J V と相談します。

**■釜沢非常口の掘削スケジュールの遅れについて、先進坑が貫通すれば赤石岳公園線を工事車両が通行しなくなるが、先進坑貫通のスケジュールも同様に遅れるということか？**

**J R の回答** 当初平成 30 年秋頃に先進坑貫通と説明しましたが、それより 2 ヶ月程度遅れる見込みです。

**■3 月 20 日の小渋線の法面崩落は四徳渡トンネルの発破の影響によるものか？**

**J R の回答** 崩落現場とトンネル掘削場所では 150m 離れており、またその間には沢や尾根があるため発破の振動とは関係ありません。

**■大気環境測定について、市場通りの移動コンテナ局による測定結果はいつ示してもらえるか？また、平成 27 年度にデイサービスセンター横で行った大気環境測定車「あおぞら IV 号」による大気環境測定の速報値は対策委で報告されたが、確定値の公表はいつになるか？**

**村の回答** 1 年間の観測が終了本日コンテナ局を撤去しました。観測結果（速報値）の公表に関しては県の環境担当に確認します。あおぞら IV 号の（確定値）は村に報告されており、概要は県のホームページで公表されています。

\*市場通りの移動コンテナ局による測定結果（速報値）は、4 月中旬以降に大鹿村ホームページに掲載予定です。また、デイサービスセンター横の観測結果（確定値）を大鹿村ホームページに掲載しました。

**■さくらシーズンにおける西下トンネルの信号機の設置について、例年通り行うのか？**

**村の回答** 道路トンネル工事が行われていることから、通行車両に支障がないようトンネル前後に誘導員を配置する等 J V と調整し対応します。

**■小渋線の大型車両の通行について、一般車両の通行に支障無きよう安全運転をお願いします。**

**J R の回答** 新たな運転手が来る際は、入場者教育・安全教育を徹底します。既に走行しているダンプについては定期的に安全教育を行っています。

**県の回答** 工事ごとにダンプのステッカーの色を変えています。マナーの悪い車両は、ステッカーの色やナンバーを知らせていただければ再教育を行います。

**■半の沢の埋立による県道活用について、半の沢への発生土の本置き計画はどうなっているか。**

**県の回答** 沢を埋めて最終的に県道として活用したいと考えており、将来的に安全な盛土となるよう慎重に検討を行っているため時間を要しています。本置き出来ることが決まった段階で、連絡協議会で説明させていただきます。

## ○次回（第 3 回）開催日程について

次回の開催時期を平成 29 年 6 月中旬～下旬とし閉会しました。

\* 現在行われているリニア工事・調査の状況は、大鹿村ホームページ、大鹿村ケーブルテレビ文字放送・データ放送で確認いただけます。